



府中国際交流サロン  
FUCHU INTERNATIONAL SALON

# くろする〜ど



ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ 仲良く助け合っ  
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、活動  
をつづ 続けています。

2025/6月号 第304号

かいほうし  
会報誌

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

げっかん  
〜サロン月間カレンダー〜6月〜

にほんごきょうじゅほうけんしゅうかい はじ  
「日本語教授法研修会が始まりました」

## 日本語学習会

日時：6月2日(月)～6月30日(月)  
月(午前・午後) 水(午後) 金(午後・夜)  
土(午後) ※7日(土)18日(水)は休み  
場所：会議室・学習室ほか

## 実行委員会

日時：6月11日(水) 午前10時～昼12時  
場所：学習室

## 日本語教授法研修会

日時：6月5・12・19・26日(毎週木曜日)  
午後2時～4時  
場所：学習室

## 文化交流部会・浴衣着付け教室

日時：6月27日(金) 午前10時～昼12時  
場所：第2会議室  
定員：10名 ※無料  
申し込み締切：6月25日(水)  
※「紫陽花を愛でる会」(7/5開催予定)について  
は、6月中にお知らせします。

## フューチャー休館日

6月7日(土)、18日(水)は、フューチャー全体がお休みです。

\*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。

先月5月8日(木)から、今期の日本語教授法研修会が始まりました。今回は初めての試みで、抽選により受講者を決め、申し込み者総数39名の中から20名の方々が(女性17名・男性3名)が選ばれて受講されることになりました。

講師は、昨年引き続き山田しげみ先生(TUFS オープンアカデミー講師)にご担当いただいています。初回は、日本人が義務教育で学ぶ国語教育と、日本語を母語としない外国人が日本語を学ぶための日本語教育の相違を、動詞グループ分け(五段活用⇒1グループ、上・下一段活用⇒2グループ、カ・サ行変格活用⇒3グループ)や、文法用語の名称(未然形⇒ない形、連用形⇒ます形・て形・た形、終止形⇒辞書形など)の例をとおしてわかりやすく説明していただきました。

前期研修会は7月17日まで、毎週木曜日の午後2時から、計11回(内1回は中村則子先生による「音声講習会」)にわたり開催されます。現ボランティアの方々も聴講(各1回につき5名まで)ができますので、希望される方は事前に事務局にご連絡ください。

前期研修会終了後は、受講者の皆さんはいずれかの学習部会に所属し、9月から実際にボランティア活動に参加することになっています

なお、後期研修会は、9月4日から11月13日まで全11回開催されます。(研修部会)





んの文化がないので、それも日本にきて驚きました。

最後は、ロボット・レストランです。日本では、タブレットで注文するとロボットが料理を運んでくれるレストランがあります。はじめて行ったときは、これは本当に現実なのかと思うくらいおどろきました。テレビや映画の中でしか見たことがなかったので、私は写真をたくさんとりました。未来を感じるような経験で、日本はこのような新しい技術を実際に活用している国だと感じました。

まとめると、日本は毎日驚きがいっぱいです。自動販売機、時間どおりの電車、ロボット・レストラン、などなどです。

日本は、本当にわくわくする国です。日本での生活をこれからも楽しみにしています。

みなさん、聞いてくれてありがとうございます。

## 「桜まつりに参加して」

イ・スジン (韓国)

最初はただ名前を書いてくれる活動だと思いましたが、直接参加しながらお互いに違う背景を持った人々と他の国に対する関心一つにつながるという点が不思議でした。

多くの日本人が自分の名前がハングルでどのように表現されるのか知りがあって、私が一文字ずつ書いてあげると不思議がって喜ぶ姿が記憶に残ります。ある人は簡単な自己紹介ですが、一緒に読んだり書き留めたりしたのですが、その姿を見て胸がいっぱいになりました。

話をしながら、私の思ったより韓国語と韓国文化に対する関心が大きいということも感じられました。この活動を通じて名前を書くのではなく、文化的交流と疎通が盛り込まれることができるということを感じました。

これからもこういう活動があったらまた参加したいと思いました。



左から王香莢さん、イ・スジンさん

☆.....☆.....☆.....☆

わたしのふるさと ~57~

## 「100年後も栄える福岡」

金曜午後ボランティア 篠原 裕子

私のふるすとは福岡です。大学卒業まで過ごしました。

福岡で有名なものといえば、食べ物なら辛子明太子、豚骨ラーメン、いちごのあまおう、お祭りなら、



# 皆さんよろしく◇学習者紹介

## 「マキはボケ、ルドは突っ込み担当」

バーグ・ルドヴィクさん（フランス）



どんたく、博多祇園山笠、観光スポットでは、櫛田神社、キャナルシティ、海の中道海浜公園、少し足を伸ばして太宰府天満宮などがあります。私が中学生の頃は、校内マラソン大会が海の中道の近くで毎年行われ、風が吹く中、苦しいけれども走ったことは、今ではいい思い出です。

一方、あまり知られていないと思われることを紹介すると、福岡の博多湾にはカブトガニが生息しています。カブトガニは「生きた化石」と呼ばれ、今では環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されています。私は学校からの帰り道に、カブトガニを一度ならず見たことがあります。海にいるはずのカブトガニが、なぜ田んぼの中の道路に出現したのかはいまだに謎ですが、だれかが運んでいる途中で落としたのかなと思ったりもします。

現在、福岡の中心の天神地区では、老朽化したビルを耐震性の高い先進的なビルに建替える“天神ビッグバン”プロジェクトが進行中で、新しいビルが次々と建設されています。私が買い物をしたようなショッピングビルなども新しいビルに生まれ変わっており、古い物が新しい物で上書きされていくようです。

福岡市は海に面しているため海の幸にも恵まれ、地震や台風などの自然災害も少なく、住みやすい街です。大陸にも近く、九州の中心であり、人も集まって来るため、日本21大都市の中で若者率が最も高い都市です。ある研究者のシミュレーションによると、福岡は100年後も栄える都市の一つに挙げられていて、今後の発展がますます楽しみです。

参考：カブトガニ

[福岡市 カブトガニの保全及び生息調査](https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyok/chosui/hp/kabutogani-hozen.html)

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyok/chosui/hp/kabutogani-hozen.html>



カブトガニのイラスト

私のニックネームは、ルドです。出身は、フランスの南西部に位置するトゥールーズ市です。本年の2月20日に来日、3月10日頃、サロンに来ました。

日本のゲーム、RPGを楽しんでいたので日本に興味がありました。日本語はほぼ独学で勉強しました。

トゥールーズの大学卒業後、モンサンミッシェルの近くのレンヌ大学院で、コンピューターサイエンス、グラフィックを学びゲームプログラマーもできます。その後、カナダ・ケベックで2年間、仕事をして日本に来ました。ワーキングホリデーで仕事を探しています。

家族は父母と4人兄弟ですが日本に興味があるのは私だけです。趣味はデッサン、ゲーム、楽曲作りです。AKBとかのバラエティ番組を見るのも好きです。

好物は唐揚げ、カレー、おにぎり(ツナマヨ)、性格は、何でもできる、食べる、バイタリティーがあります。

桜まつり(上野、高尾山)に行きました。フランスでは花の祭りはありませんので日本はきれいだという印象です。

日本の文化を学び、日本語で会話ができるようになって、きっかけがあれば日本に住みたいです。

先月号で紹介したマキシムさんが、「子供を飼う。犬を育てる。」とボケれば、私は、「犬を飼うです！」と突っ込みを入れます。(聞き書き・末田)

# おし かた こんな教え方しています

～ 26 ～

## 「楽しく学びあうことを大切に」

きんようごご よしいけ みきこ  
金曜午後ボランティア 吉池 美紀子

“今日は！”と明るく挨拶することからいつもの学習が始まります。学習者は、董瑩さん(中国)。8年前来日され、N2の試験に合格されています。基本的な読み・書きはできていますが、仕事も日常的にもほとんど中国語の生活なので、ご本人としてはもう少し日本語を話し、書くことを学びたいという希望を持たれています。今の日本語力を更に伸ばしつつ、その願いを叶えるためにはどんな方法や教材がよいか考え、次のように進めるようにしました。

- ① フリガナのある新聞の切り抜きや漫画を読み、内容について意見交流したり、分からない言葉を書き出し意味を考えたり調べたりしています。それでも分からないことは互いに宿題にします。
- ② フリガナのない広告・短いエッセイ・絵本をゆっくり読みあい、漢字を書き出し意味を考えたり、気づいたことを意見交換します。特に絵本は難しい漢字が少なく、ユーモアもあり学習者にも新しい発見があり、楽しく学べます。
- ③ 学習者と一緒に選んだテキスト『みんなの日本語初級 I 初級で読めるトピック25』でアクセント・抑揚などに注意して読みを中心にする。内容によっては日本や諸外国との習慣・文化の違いについて感想を述べ合い、そこで新たに気づくこともあります。
- ④ 料理が好きということで、普段よく作るお国の料理のレシピを書き、外国人である日本人に分かるように発表してもらいます。今はその発表を楽しむにしています。

これからも学習者の方の願いを生かし、日本語の学びのお手伝いをしながら楽しく学びあうことを大切にしていきたいと思えます。交流の輪が水の輪のように広がることを願いつつ。

# しん 新ボラさん こんには

## 「心にしまったスペインへの想い」

きんようよる もりや ひろし  
金曜夜ボランティア 守屋 裕

気が付けば古希。あつという間に時は過ぎる。生を受けたのは朝鮮戦争の休戦協定が発効した年。日本はまだ貧しく、社会はまだ戦争を引き摺っていた。母親の朝一番の仕事は共同水道への水汲み。秋祭りの神社の境内には白装束に戦闘帽の数人の傷痕軍人がいた。夕食後の一家団欒はラジオを聴くことだった。

そんな戦後の日本をガラリと変えたのはテレビの出現。父親が方道山のプロレスと王、長嶋の出場するプロ野球を見るために無理して購入したのだった。近所にテレビを持つ家はなかった。テレビから流れてくるのはアメリカのドラマが多かった。ブラウン管を通してアメリカの物質的な豊かさに圧倒され、彼我の差に愕然とした。と同時にアメリカへの憧れが幼い胸の内に育っていった。

思春期を迎えるころ、ロックミュージックに出会った。ビートルズ、ローリングストーンズ、ビーチボーイズ、ドアーズ etc。信州伊那の高校生はカウンターカルチャーにすっかり影響されジーンズを穿き、ロン毛で高校へ通った。

パリでは五月革命、東大安田講堂では学生と機動隊の攻防戦、世界は騒然としていた。何をしてよいのか、どう生きていけばよいのか、悶々としていた時に出会ったのが、五木寛之の『さらばモスクワ愚連隊』、『青年は荒野をを目指す』。貪り読んで、海外放浪を夢見た。が、当時は1ドル360円の固定相場制の時代、10代の少年の外国への渡航など夢のまた夢。家から逃れるように上京し、大学に籍は置いた。まだ学生運動の余燼がくすぶっており、すぐに学校から足は遠のいた。そんな時、ジョージ・オーウェルの『カタロニア讃歌』、ヘミングウェイの『誰がために鐘は鳴る』を読んだ。「スペインへ行こう」大学の卒業、就職などは全く頭になく4年生の初夏、機

## 「粉もんの世界」

金曜夜ボランティア 和田 泰弘

上の人となった。ロンドン、パリは居心地が悪かった。そそくさとパリ東駅から夜行列車に乗り、マドリッドへ。その頃のスペインは独裁者フランコが世を去り、社会にはほどことなく解放感があふれていた。スペイン人はフランコの政策(義務教育で外国語を教えない)もありほとんどが英語を話さなかったが、バルに行けば東洋人の若者に興味津々。身振り手振りと言葉の英語で話しかけてくる人が多かった。ほんの2か月余りのヨーロッパ放浪旅だったが、その後の人生に大きな影響を及ぼしたと思う。「いつかスペインで学びたい」という強い思いが生まれた。

何とか、学業を終えマスコミの末席を汚すこととなったが、いつしか若き日のスペインへの思いを心の奥底にしまい込んだ。そしていよいよ社会人としてピリオドを打つ時が迫ってきた。「さて、この後どう生きていこう」まず頭に浮かんだのはスペイン語に本格的に取り組むということ、そしてスペインで学ぶということ。完全にリタイアした1年後にはスペインアlicant大学の外国人向けスペイン語コースで学んでいた。世界中から若者が集まっていた。イギリス、フランス、ドイツ、アメリカなどから多くの学生が来ていたが、ヨルダン、アルジェリア、タジキスタンなど日本にははまず知り合うことのない国から来た青年たちとも懇意になった。クラスにはロシアとウクライナからの留学生もいた。なんとなくよそよそしい雰囲気は彼らの間には漂っていたが、中にはロマンスが二人の間に生まれたロシア、ウクライナの男女もいた。「ああ、若者はどの国であってもみな同じだなあ」

約1年のスペイン滞在中には日本語を学ぶスペイン人とのインテルカンビオ(交流会)に何度も参加した。彼らはとにかく日本語を話したがっていた。そんな彼らが学ぶ外国語学校の日本語クラスを參觀した。「これなら自分でも日本語をおしえられるかも」

かくしてスペインの留学から帰国してしばらく後、日本語教授法研修講座の募集を目にし、一も二もなく応募したという次第。

パン、うどん、ラーメン、お好み焼、パスタ、餃子などなど、身近にある料理の、共通した材料は何でしょう? そう、「粉」です。通称、「粉もん」と呼ばれる料理の原料に使う「粉」の世界には思わぬ序列があるのです。

対義語の世界では、「薄い」には「厚い」、「強い」には「弱い」、さらに「大」とくれば「大・中・小」となるのが普通ですが、「粉もん」の世界ではちょっと違うようです。「粉」の代表に薄力粉、強力粉がありますが、「厚力粉」、「弱力粉」というのは聞いたことがありません。なぜ対義語のルールが守られていないのでしょうか。最近、「薄力粉」「強力粉」のほかに「中力粉」なるものも存在することを知りました。全国各地の食文化をレポートするTV番組『秘密のケンミンSHOW 極』で、岩手県の名物「ひつつみ汁」が紹介され、「ひつつみ」に使う原料は中力粉とのことでした。「中」があるのなら「大力粉」「小力粉」もありそうなものですが、これも耳にしたことがありません。いったい、「粉もん」の世界のルールはどうなっているのでしょうか。

対義語のルールから外れる世界は、ほかにもありました。「最近キャベツが高いのよ」「早く安くならないかしら?」。「高い」には「低い」ですが、「早く低くならないかしら」とは、言いませんね。味覚の世界では、味の濃度を「薄い」に対し「厚い」とは言わず、「濃い」と表現します。カレーやお酒は甘口、辛口で表しますが、なぜか中口というのもあり、突ぜん「大・中・小」の尺度が入り込んできます。日本語を学ぶ外国人にとっては厄介ですね。こういうのを「例外」と云うのでしょうか。

さて、今晚は「薄力粉」を使ってイワシの蒲焼きを、はたまたチキンのトマトソース煮かカキのクリームソースパスタを、いや、強力粉を使ってパンを焼こうか、頭の中が粉まみれになってきました。

# ひろ ば みんなの広場

## 「サロンの新しいチラシができました」

これまで、サロンを外に紹介する広告にリーフレットがありましたが、それに代わる新しいチラシができました。今回のチラシは、サロンで日本語学習を希望する外国の方が、どのような手続きをすればよいか、その手順をわかりやすく伝えることを目指しました。リーフレットを作成してくださった安島さんが今回も中心となり、チラシ作成チームを組み、市の協力も得て、一緒にアイデアを練り素晴らしいチラシを仕上げてくださいました。

5月16日(金)に完成し印刷に取りかかり、6月下旬から市役所の住民登録窓口をはじめ、順次市の外部施設、東京外大、東京農工大等で配付をする予定です。

皆さまも是非いちど手に取ってご覧ください。そして配布のご協力をよろしく願いいたします。

(編集部)

## 「阿部さんの後任に平野さんが着任」

市民協働推進部でサロンの担当をされていた阿部美佐さんが、4月の人事異動で「子ども家庭部」へ部長として異動されました。その後任として、平野妙子さん(市民協働推進部多様性社会推進課長兼都市交流担当主幹・元広聴相談課長)が新たに着任されました。

阿部さんには、フチュールへの移転事業をはじめ、慣れない場所でのボランティア活動を後押ししていただいたり、的確なアドバイスをいただいたり、温かいご支援に深く感謝いたします。

平野さんには、サロンのフチュールでの活動が潤滑に運び、益々活発になるように今後もご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

(編集部)



チラシの表紙





にほんご しじょう がくしゅう  
「日本語を誌上で学習しよう！」

へんしゅうこうき  
～編集後記～

今回は、『みんなの日本語初級I』標準問題集の第17課からの出題です。日ごろの学習の成果を試してみましよう。例1、2のように、( )の中の「ます形」を変えてください。

例1：あしたまた(来ます→来てください)。

例2：ここは禁煙ですから、たばこを(吸います→吸わないでください)。

■問題

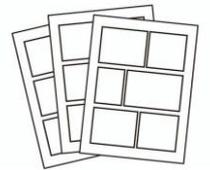
- すみませんが、ちょっと(手伝います→  
\_\_\_\_\_ )。
- 暗証番号は大切ですから、(忘れま  
す→  
\_\_\_\_\_ )。
- 危ないですから、うしろから(押し  
ます→  
\_\_\_\_\_ )。
- 時間がありませんから、(急ぎま  
す→  
\_\_\_\_\_ )。
- エアコンをつけましたから、窓を(開  
けます→  
\_\_\_\_\_ )。
- 漢字がわかりませんから、ひらが  
なで(書  
きます→  
\_\_\_\_\_ )。

\* 答えは、編集後記のあとにあります。

先月より会報部会に入会しました今井乃理子です。昨年度の日本語教授法研修を修了したばかりで、昨年9月からボランティア活動に参加させていただいています。なにか必死でやっているうちにあっという間に10か月経ってしまったという感じです。

「くろすろ〜ど」も当たり前のように毎月いただいていたのですが、いざ自分が会報部会に入ってみて先輩方の活動を間近で拝見する機会が増えますと、その熱量・心の余裕・時間のやり繰りなどには圧倒される思いです。このご縁をこれから大切にしていきたいと思えます。

私自身は週に一度の日本語ボランティアのことで頭がいっぱいですが、みなさまに先んじて原稿を読ませていただくのは楽しいことだと感じています。サロンに入ったばかりでなにもかもが勉強中です。どうぞよろしく願いいたします。(今井)



「日本語を誌上で学習しよう！」の答え

- 1) 手伝ってください
- 2) 忘れないでください
- 3) 押さないでください
- 4) 急いでください
- 5) 開けないでください
- 6) 書いてください

\*\*\*\*\*

【創刊】 1997年11月

【編集】 編集長：和田泰弘

会報部会：末田・和田・堤林・岩城  
今井・本田

【事務局】 電話：042-352-4178

サロンのホームページ

<https://fuchukokusai.com/>

